

2023年7月1日

日本機械学会関西支部会員の皆様

関西支部シニア会会長 久保司郎

理科工作教室代表 仲津英治

シニア会「親と子の理科工作教室」に対する御寄付のお願い

1. 趣旨

日本機械学会関西支部シニア会では、シニアの知識と経験を生かした社会貢献活動の一環として、小学生に理科工作の面白さを体験させ工学さらには機械工学に対する関心を持ってもらうべく、有志が集まり「親と子の理科工作教室」を2008年に開始しました。以来15年が経過し2022年度末で児童・生徒の累計参加者は約6,800名となりました。

しかしながら、2020年に端を発したCOVID禍の為に2年間の活動を中止せざるを得ませんでした。昨年度は条件付きでの対面方式の教室開催が可能となり規模が縮小されたものの久しぶりに子供達の楽しい声を聴くことが出来ました。今年度はその条件も無くなりフル活動を開始したところです。開催規模としては、一般教室は15会場・28教室・参加280名、大阪市理科特別授業は4校・8学級・参加220名とし、

- ・低学年対象に回転ブランコ・風力発電・ミニプラレース・ペンギンロボット
- ・高学年対象に新幹線電車・二足歩行ロボット・偏光を使った忍者屋敷・マイコン搭載コロコロ距離計
- ・大阪市理科特別授業では5学年を対象にリニアモータの原理

など参加児童達がモノ作りを介して「機械」に興味を持って貰えるようなテーマを揃えて以前のような和気あいあいとした教室になるようメンバー全員で尽力する所存です。

これらの教材はテーマ担当者が手作りで準備するのをモットーとしているのですが、COVID及びウクライナ戦争等の影響を受け、材料購入費が暴騰しており(例えばモータ1個¥150だったのが¥400)、担当者が苦労している状況です。また、教材運送費や交通費もしかりです。これらに要する費用としては、参加費の徴収・本部所轄の機械工学振興事業資金の助成・関西支部からの交付金に加え皆様方からのご寄付等で賄っています。ついては、本趣旨にご賛同頂ける支部会員の方は下記の要領で御寄付をして頂きますよう、メンバー一同を代表して御協力の程よろしくお願い申し上げます。

2. 御寄付の受付について

- ・受付期間 … 2023年7月1日～2023年12月末日まで
- ・金額 … 一口1,000円(出来れば2口以上)
- ・送金手順

①添付の「機械工学振興事業資金 特定資金寄付申込書」をダウンロードして必要事項をご記入のうえ、本部へメールにて送付してください。

メールアドレス：finance@jsme.or.jp

②ゆうちょ銀行備え付けの払込取扱票で、通信欄に「機械工学振興事業資金特定資金寄付金」と明記し、①の申込書送付日をご記入のうえ送金してください。

振込先：郵便振替 00130-1-19018 口座名義：一般社団法人日本機械学会

- ・なお、本寄付金は免税措置の対象事業ではありませんので、予めご了承下さい。

お問合せ先：日本機械学会関西支部 メールアドレス：senior@kansai.jsme.or.jp

以上

機械工学振興事業資金 特定資金寄付申込書

寄付の目的	「機械及び機械システムとその関連分野に関する学術技芸の進歩発達をはかり、もって人類社会の発展と安寧及び福祉の向上に貢献することを目的とする以下の事業に対して」該当するものに○印をお願いします。 1. 集会事業の企画・実施 2. 研究・調査活動の実施 ③ 人材育成・教育ならびに普及・啓蒙活動 4. その他 具体的にご記入ください。 ()
実施事業名	関西支部シニア会「親と子の理科工作教室」
企画支部名	(関西) 支部
開催日・活動期間	2023年3月1日 ~2024年2月29日
ご寄付者 会員氏名(フリガナ)	
会員番号	
ご寄付額	金 円也
送金予定日	年 月 日に送金します。 振込先：郵便振替 00130-1-19018 口座名義：一般社団法人 日本機械学会 *1.振替用紙の通信欄に「 機械工学振興事業資金特定資金寄付金 」と明記し、本申込書の送付日をご記入ください。 *2 振込手数料はご負担ください。

本部事務局使用欄				
No.	入金日	入金額	支部送金日	担当